

# Precision Medicine Initiative (概要)

2015年米国一般教書演説においてオバマ大統領が発表

## ■ precision medicineとは

これまでの治療法の多くは「平均的な患者 (average patient)」向けにデザイン



遺伝子、環境、ライフスタイルに関する個人ごとの違いを考慮した予防や治療法を確立する

## ■ 目的

- より良いがんの治療法の開発・提供
- 100万人またはそれ以上のボランティアからなる全米研究コホートの創設:  
参加者はカルテ情報、遺伝子情報、代謝物質情報、体内の微生物情報、生活環境・生活習慣データ、行動データを含む様々な情報の集積に貢献。プライバシーを強く保護。既存のコホート研究の連携も行うとともに、患者が積極的に参加するようなイノベーティブな研究モデルを作る。コホートには優れた研究者が広くアクセスできるようにする。
- precision medicineに伴うプライバシー問題への対応
- 規制の近代化:  
現在の規制の見直し。次世代シーケンサ技術の新しい評価法、高精度なデータベースの構築、参加者保護体制の構築等
- 官民連携:  
ボランティアからなる100万規模の研究コホートの構築やがん遺伝学研究に必要なインフラ整備のために、既存の研究コホート、患者団体、および民間部門との強力なパートナーシップを築く。運営には、医療研究機関、研究者、財団、プライバシーの専門家、医療倫理学者、および企業人材を招集。

## ■ 予算（2016年度大統領予算案 2.15億ドル）

- **NIH 1.3億ドル：**

100万以上のボランティアからなる研究コホートを立ち上げる。健康及び疾病に関する理解を深めるとともに、積極的な参加者と研究者に開かれたデータ共有を通じた、新たな研究実施のための基礎を構築する。

- **NCI 7000万ドル：**

がんドライバー遺伝子<sup>#</sup>の特定およびより効果的ながん治療法の開発に向けた取り組みを強化する  
#発がんやがん悪性化の直接的な原因となるような遺伝子

- **FDA 1000万ドル：**

precision medicineを進めるために現在の規制を見直し、専門的な知見の獲得や高精度なデータベースの構築を目指す。

- **ONC（国家医療情報技術調整室）500万ドル：**

プライバシーの保持及びシステム間の情報の交換のために相互運用の基準や要件を確立する。